

平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

1. 学校概要

学校名 大阪市立関目東小学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫教育
☐ 中学校 ☐ 中高一貫教育 ☐ 高等学校
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育
☐ 特別支援学校 ☐ その他 ()

所在地 〒536-0008

E-mail e172114a@ocec.jp

Website http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e691553

児童生徒数 男子 267 名 女子 222 名 合計 489 名
 児童・生徒の年齢 7 歳～12 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☒ 国際理解
- ☐ 世界遺産
- ☒ 平和・人権
- ☒ 環境
- ☐ 気候変動
- ☒ 生物多様性
- ☐ エネルギー
- ☐ 防災
- ☐ 食育
- ☒ 伝統文化
- ☐ そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1年生・・・在せきするインドネシア・マレーシア人の子どもを中心に、多文化共生について学んだ。マレーシア人の保護者より、ゲストティーチャーとして食文化・国の概要、イスラムの習慣（ラマダンや食生活・お祈りのこと）などを紹介してもらう。その学習を中心に、いろいろな国には日本とちがう生活があることを学び、お互いの習慣や生活を尊重する態度を身につけた。

2年生・・・道徳で学んだ価値観を実践力に結びつけるため、学んだ価値観に合う行動をしていた児童を子どもたち同士で紹介し合うことで、よりよい行動をする意欲を高めた。また、和太鼓の体験学習を通じて、日本文化に触れ、楽しんだ。

3年生・・・身近な自然を、1年を通して観察し、生き物のふしぎをさぐった。近畿大学のかん境サークル「フィーリンク」の大学生とともに学び、公園の植物を大切にするなど、普段の自分の遊び方に結びつけて考えた。また、JICA 研修員との交流会では、日本の「節分」を紹介するとともに、研修員さんの母国のよく似た行事を教えていただき、交流した。

4年生・・・学校の横を流れる城北川の水質検査や生き物調査を大阪市かん境局のみなさんと実施し、身近な川にもたくさんの生き物が生きていること、水質が意外ときれいなことを知り、「川にゴミを捨てない」というマナーを科学的な側面や、持続可能性と結びつけて学んだ。

5年生・・・1年間を通じて学年集会で、「自分たちにできること」を考え、行動してきた。全校集会や林間など、一つ一つの行事を集団行動や自然観察などの実践力をはぐくむ機会として捉え、児童自身の自立をめざして活動した。

6年生・・・算数科や社会科の中でも ESD を意識した取り組みをした。5年生から取り組んでいるスクールコットンプロジェクトでは、インドの学校に自分たちが描いた浮世絵を送った。また、環境問題に取り組む会社として世界的に有名なアウトドアウエアの「パタゴニア」の日本社長である辻井氏にゲストティーチャーに来ていただき、パタゴニアのオーガニックコットンへの転換や、供給チェーン全体に関わる労働環境・原材料への責任の持ち方について話していただいた。全校の活動として、6年目になる JICA 研修員との交流会を行った。英語話者として紹介されている途上国からの研修員さんたちであるが、本校では毎年、研修員さん一人一人の母国や母国語に関心を持ち、児童の学習とつなげての内容豊かな交流を行っている。交流までに各学年で学んだ日本文化（日本の踊りや歌、剣玉やカルタ、あやとりなどの昔遊び・書道など）を紹介し、母国の生活について興味を持って質問をしたりお話を聞いたりした。児童は全学年で行っている英語学習を生かして自己紹介をしたり、全体集会で学んだ母国語の挨拶をしたりして、進んで交流し、それぞれの国を大切にすることを実践した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- ☒ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
☐ 時間外活動の時間を使用
☐ ユネスコクラブの活動として実施
☐ その他（ ）